

色とりどりの花

道の駅たかの 2023.4.20

(広報・企画グループ)

庄原市高野町下門田49

☎0824-86-3131

michieki_tak@takanoyama.jp

<https://www.takanoyama.jp>

★Twitter・インスタも更新中♪

今年は例年より2週間ほど早く庄原の桜も終わりを迎え、いよいよ春も後半に差し掛かってきました。レストラン前の花壇に植えたチューリップも赤、黄、紫の綺麗な花を咲かせました。先日は花好きの出荷者さんと力を合わせて、新たにガーベラやマリゴールドなど色とりどりの花を植えております。道の駅にお立ち寄りの際には綺麗な花にも注目して下さいね♪

売場にはたけのこやコシアブラなどの山菜、今年初の高野町産アスパラガスの出荷もスタート、高野町内の出荷も本格的に始まり、どんどん賑わっていく売場を見るのが楽しみです♪



出荷者登録証の利用推奨について

わいわい高原市場

しわばし ひろあき

志和橋 弘了

いつもたくさんのお荷、ありがとうございます。コロナ禍も明けようとしており、かなりお客様も戻って来られた様子で、山菜をはじめ、生鮮品の売上も好調です。一方で、出荷物が増えてくると頻繁に発生するのが出荷者番号の入力ミスによるラベルの貼り間違いです。せっかく丹精込めて育てた商品も、ラベルを貼り間違えると売上がきちんと反映されません。また、売上メールをきちんと見ていないとその間違いにすら気づかない場合もありますので、出荷の際には必ずラベルの名前が合っているか確認して下さい。

そこで出荷者の皆さんにお勧めしたいのが、「出荷者登録証」です。道の駅の事務所ですぐ発行でき、バーコード発券機で登録証についているバーコードをかざせば番号を間違えることなく発券出来る上、名札に名前がついているので我々スタッフも皆さんの名前を覚えやすくなり、お声掛けがしやすくなります。ぜひ出荷の際にはご利用ください♪



名前入りの「出荷者登録証」



バーコード発券機でバーコードを読み取ると、出荷者番号が自動で入力されます。裏面につづく♪

キッチンカーや対面販売などで、県北を中心に手作りの「卵サンド」を販売しております、福ぱんの福本直哉と申します。

出身は西城町中野で、幼少期から自然豊かな環境で育って来ました。高校卒業後は庄原の介護施設に就職し、介護士として10年間勤務。その中で「食で人を笑顔にしたい」という思いがだんだん強くなっていきました。

ある時、偶然移動販売をされているパン屋さんと出会いました。丁度コロナ禍が始まった時期でしたが、自分がやりたいことに挑戦したいと意を決してそのパン屋さんに転職。そこでは約2年間勤務しましたが、たくさんのお客さまとの出会いがありました。島根県の高校でお昼休憩に売店でパンを販売していた際には、生徒さんから「たくさん食べられて幸せ」「もっとお腹いっぱいになるパンが食べたい」などボリュームを求める声が多くあり、自分の学生時代もそうだったなと回想しながら、子供から年配の方まで食べることが出来、満足感を感じられる自分の手作り卵サンドで幸せな気持ちにしたいという思いで開発したのがこの「卵サンド」です。



対面販売を行う福本さん



もみじたまごがぎっしり詰まった「卵サンド」

商品開発の際には、地元の濃厚な卵をふんだんに使用し、一つでお腹いっぱいになれるような卵サンドを目指しました。

使用する食材は地元西城の横路鶏園さんの「もみじたまご」と、ゆめさくらでパンを製造されている米麦工房21めぐみさん（和泉光和堂）の庄原産小麦を使用した食パンで、とことん地元の食材にこだわった逸品です。難しいところは、1つ1つが手作りで、卵も貴重な為大量生産が出来ません。そのため、基本は予約を中心に販売しています。最近では各地のイベント出店や、道の駅たかのかでの対面販売もスタートさせ、多くのお客様に食べて頂く機会も増えましたが、嬉しい反面仕込みがとても大変です。また、一度食べてもらったお客様にリピーターになってもらえるように様々な味のバリエーション（つぶつぶマスタード、ブラックペッパー等）を考えていますが、卵の濃厚な味わいをキープしながら、新たな味を加える作業はバランスが難しく、苦勞と楽しさがあります。

販売している中で、卵がたっぷり入った卵サンドを見たお客さまが笑顔になったり、召し上がったお客さまから「美味しかった、お腹いっぱいになったよ」と笑顔で声をかけていただいたときはとても嬉しく、やりがいを感じました。今後もこの「卵サンド」を通して皆さんに笑顔をお届けしたいと思っています。